様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024年　6月　30日

名古屋市長　様

提出者
住　所 名古屋市中区錦二丁目2番13号
氏　名 株式会社竹中土木　名古屋支店
執行役員支店長　今野知彦
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　052-231-2121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称		株式会社竹中土木　名古屋支店
事業場の所在地		愛知県名古屋市中区錦二丁目2番13号
計画期間		2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
	① 事業の種類	06：総合工事業
	② 事業の規模	
	③ 従業員数	105名
	④産業廃棄物の一連の処理の工程	○廃油 再生処理業者(脱水)へ委託（処理後は再生オイルとして再資源化） ○廃プラスチック 再生処理業者(選別)へ委託（処理後はﾌﾟﾗｽﾁｯｸ原料として再資源化） ○木くず 再生処理業者(破砕)へ委託（処理後はパルプ・紙原料として再資源化） ○がれき類 再生処理業者(破砕)へ委託（処理後は再生骨材・路盤材として再資源化）

（日本産業規格　A列４番）

（第2面）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">（管理体制図）

支店長
↓
支店工事部長（廃棄物処理統括責任者）
↓
工事グループ部長（廃棄物管理担当者）
↓
工事現場管理責任者（作業所長）
↓
工事現場担当者（産業廃棄物管理責任者）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙1の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙2の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td></td><td>①現状</td><td colspan="2">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・がれき類、木くず、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸはそれぞれに分別して、他の廃棄物が混入しないよう保管。</td></tr>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="2">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・上記を継続するとともに、朝礼、安全教育等で廃棄物の分別保管を徹底する。</td></tr>
</table>

（第3面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量
した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量
する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

（第5面）

<table>
<tr><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙2の通り</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙1　　【前年度（令和5年度）実績】

	廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	がれき類	混合廃棄物	13号廃棄物			
	名称（任意の名称を記入してください）										
①	排出量(t)	1578.475	24.15	0.75	185.55	1043.705	19.15	1			
②	自ら再生利用を行った量(t)										
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)										
⑤	自ら熱回収を行った量(t)										
⑦	自らの中間処理による減量(t)										
⑩	処理委託した全量(t)	1578.475	24.15	0.75	185.55	1043.705	19.15	1			
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	489.5	11.05	0.75	80	521	0	0			
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	1088.975	13.1	0	105.55	522.705	19.15	1			
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)										
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)										

別紙2　　【今年度（令和6年度）計画】

	廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	がれき類	混合廃棄物	13号廃棄物			
	名称（任意の名称を記入してください）										
①	排出量(t)	1000	20	0.5	150	1000	15	1			
②	自ら再生利用を行う量(t)										
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)										
⑤	自ら熱回収を行う量(t)										
⑦	自らの中間処理による減量(t)										
⑩	処理委託する全量(t)	1000	20	0.5	150	1000	15	1			
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	500	10	0.5	100	500	10	1			
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	500	10	0	50	500	5	0			
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)										
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)										